

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

アバラング2とは何か?

アバラング2は雪崩に埋められたときに、雪の中での呼吸を確保するために開発されたハーネスです。その仕組みはシンプルで、雪の中の空気を取り入れるためのフィルターと、その空気を吸うためのチューブとマウスピースとから成り、それらをハーネスに内蔵しています。チューブには弁があり、吐いた息(二酸化炭素)は弁によって分けられ背中側に排出されます。

アバラング2を使用するためにはこの取扱説明書をよく読み、その性能と限界を熟知することが必要不可欠です。

雪崩は人命を奪うこともしばしばです。雪崩のことをよく知り、雪崩の起きそうな斜面や不安定な雪質の斜面は避けることが第一です。

アバラング2は、熟練したパートナー、ビーコン、ショベル、プローブ(ゾンデ)と一緒に使用しないと機能しません。そして、道具に加えて最も重要なものが雪質や雪崩についての知識と経験、そして慎重な決断を下す判断力です。

▲ 重要:アバラング2そのものが危険を察知したり、埋まった人を助けたりするわけではありません。アバラング2は雪の中で空気を供給する可能性を与えるだけに過ぎません。また、アバラング2を適切に使用できたとしても、同行者は埋まった人を迅速に発見し雪の中から掘り出さなければなりません。バックカントリースキー/スノーボードをする人には、雪崩に関する講習会を受講することを強くおすすめします。そしてバックカントリースキー/スノーボードには決して単独では出かけてください。

アバラング2の性能

アバラング2には以下の性能があります。

1. 短時間で救助されることを前提として、雪に埋まった人が雪の中の空気をフィルターから取り入れて呼吸することを可能にします。
2. 吸気と呼気の経路を分けて吐いた息(二酸化炭素)を背中側へ排出します。
3. 口の周りに氷の膜ができるアイスマスキングを最小限に抑えます。
4. フィルターとチューブにより空気の流れを確保し、窒息を最小限に抑えます。

アバラング2の使用方法

▲ 正しい使い方をしないとアバラング2は適切に機能しません。

ご使用前に、アバラング2のマウスピースにかぶせてある保護フィルムを必ずはがしてください。もし新品を購入した時点でマウスピースの保護フィルムがはがれていたら、使用せずに購入店に返品してください。

1. アバラング2に内蔵されているフィルターとチューブは、Avalung2/BlackDiamondのラベルが付付けられたハーネス以外の製品と組み合わせることはできません。

2. アバラング2は必ず一番外側に着用してください。アバラング2の外側には何も着用しないでください。アバラング2を通して呼吸するためには、アバラング2と雪が直接触れている必要があるからです。

3. パックはアバラング2の外側に背負ってもかまいません。ただしパックを背負ったときにアバラング2のチューブをつぶさないような製品を使用してください。

4. アバラング2のバックルは必ず閉じて使用してください。雪崩の可能性のある場所を通過するときは、左右のストラップをしっかり締めて着用してください。

5. 使用前後には必ずマウスピースをくわえて呼吸テストを行い、チューブが詰まっていないことを確認してください。アバラング2のマウスピースは使用中にも頻繁に点検し、雪や氷が詰まっていないことを確認してください。滑走後や転倒後は必ず点検してください。

6. 雪崩の可能性のある場所を通過するときは、マウスピースを待機位置にセットしてください。マウスピースが襟の中に収納されていると、雪崩に埋まったり樹木の間に吹き溜まりに埋没したときに取り出すことができません。

7. マウスピースを確実に機能させるためには口にくわえておく必要があります。雪崩に巻き込まれているとき、樹木の間に落下しているとき、深雪を滑っているときなどは、しっかりとマウスピースを歯で噛んでくわえておいてください。雪の浸入を防ぐためにマウスピースをくわえるときは口を閉じておいてください。口の中に雪が入ると呼吸を妨げ、アバラング2を適切に機能させることができません。

8. マウスピースを口にくわえた状態でスキーやスノーボードをする練習を行ってください。マウスピースをくわえる感覚に慣れ、ベストポジションを知ることにもつながります。また、マウスピースを待機位置にセットした状態でスキーまたはスノーボードで滑りながら、マウスピースをくわえる練習も行ってください。このとき手を使っても使わなくてもくわえられるように練習してください。これは雪崩に巻き込まれたり樹木の間の深い雪溜まりに落下した際に素早くマウスピースをくわえる練習です。

9. リフトに乗っているときなど、アバラング2を使用しないときは、マウスピースは襟の中に収納してください。アバラング2が必要となる可能性がある場所では必ずマウスピースを待機位置にセットし、手を使わなくても口にくわえられるようにしておいてください。

10. アバラング2は使用後に洗ってください(洗いはクリーニングの項を参照)。クリーニング後は陰干しして完全に乾燥させてください。乾燥には数日かかることもあります。クリーニングの時間がなく、引き続き使用する場合は、チューブを振って内部に異物や氷が詰まっていないことを確認してください。

▲ マウスピースの位置を調整するときや、アバラング2を保管するときはチューブをつぶしたり傷つけたりしないように注意してください。

▲ マウスピースをきちんとくわえられなかった場合、アバラング2は適切に機能しません。

アバラング2の限界

雪崩の規模と激しさによってはアバラング2を効果的に使えないことがあります。下記のような場合、アバラング2があっても機能しません。

- ・ 樹木や岩への激突により頭部や脊椎その他を損傷して死に至った場合。
- ・ 呼吸のために胸郭を広げることができないほどの圧力で雪に埋まった場合。
- ・ 雪崩により岩壁や氷壁から落下して死に至った場合。
- ・ 低体温症に陥った場合。
- ・ 上記に類似した状況で呼吸困難、または死に至った場合。

ウェル(木の周りの空洞)、深雪、といった雪山で遭遇する様々な危険によって生じたけがや死亡から使用者を守ることはできません。

雪山の危険に対して適切な判断を下し、雪の中でアバラング2を機能させて命を守るのはあくまでも使用者本人です。

使用者が意識を失った場合、マウスピースを口にくわえていたとしてもアバラング2を機能させることはできません。またチューブ内に嘔吐した場合、吐瀉物を取り除く機能はアバラング2にはありません。

アバラング2の上にはジャケットなど何も着用しないでください。

アバラング2による呼吸が断続的にとぎれた場合、フィルターとチューブ内部が氷結することがあります。たとえばパウダースキーでアバラング2をシュノーケル代わりに使ってしまった場合、凍り付いてその後の使用ができない可能性があります。従ってアバラング2はパウダースキー時のシュノーケルとしては使用しないでください。もし、そのような使い方をした場合はアバラング2に付着した雪、氷、水分を完全に落としてください。アバラングのフィルターとチューブ内部が氷結していると思われる場合は、勢いよく振って氷を落とすか、暖めて溶かして水分を十分に切ってください。

アバラング2のマウスピースは直接口に触れるため、複数人で1つのアバラング2を使い回さないでください。ウィルス等に感染するおそれがあります。アバラング2は必ず持ち主のみが使用してください。

取り扱い上の注意

- ・アバラング2にはいかなる改造もくわえないでください。
- ・アバラング2を使用した後は、必ずクリーニングしてから保管してください。
- ・保管するときは直射日光と熱源を避けて保管してください。バッテリーや溶剤、化学薬品の近くには保管しないでください。
- ・アバラング2を着用しないときはマウスピースを襟の中に収納してください。

雪崩に埋まったら・・・

1. とにかく気持ちを冷静に保つこと。
2. 呼吸に集中しコントロールすること。普通のリズムで深く呼吸してください。
3. マウスピースと唇の間にすき間をあけずにくわえることが重要です。呼吸はすべてアバラング2を通して行ってください。すき間が開いているとアバラング2から空気を有効に取り込めません。また吐いた二酸化炭素が口の周り残ってしまいます。
4. 時間が経過すると埋められた人は雪の中に沈み、上部に空気のポケットができます。この状態になったら体を動かして、アバラング2正面の空気取り入れ部か背面の呼気排出チューブのどちらかを雪に押しつけるように試みてください。吐いた息に含まれる二酸化炭素を吸う量を抑えることができます。

洗い方

アバラング2(フィルター及びチューブ部分)

1. アバラング2のフィルターをハーネスからはずしてください。
2. 塩素漂白剤を0.1%溶かしたお湯(お湯1リットルに対して漂白剤1ミリリットル)に2分間浸してください。
2. お湯から取り出し、勢いよく振って漂白剤を落としてください。
3. きれいなぬるま湯で数回すすいでください。
4. 水分をよく切り自然乾燥させてください。
5. 洗濯機では洗わないでください。
6. フィルターを包んでいるメッシュバッグを開けないでください。フィルターを傷めるおそれがあり、品質保証の対象外となります。

ハーネス

1. 水で手洗いしてください。
2. 吊り干ししてください。
3. アイロンはかけないでください。

▲ 重要：乾燥後にアバラング2のフィルターをハーネスに装着するときは、必ずマウスピースが口の方を向くように装着してください。アバラング2のマウスピースをしっかりとくわえていたとしても、雪崩の勢いに押されたり、叫んだり、パニックに陥ったりした場合、マウスピースが外れてしまうことがあります。アバラング2のマウスピースを唇との間にすき間が開かないようにしっかりとくわえていなかった場合、空気を供給するアバラング2の機能は働かず、雪の中で生存することはできません。また、雪の中で生き延びたとしても発見が遅れたために低体温症で死亡したり、仮死状態からの蘇生に時間がかかって死亡したりする可能性があります。このようにアバラング2は、マウスピースをくわえていたとしても雪崩による外傷や低体温症から使用者を守ることはできません。

アバラング2の製品寿命

アバラング2の使用前後には以上の有無を点検し、以下の症状が顕れたら使用を止めてください。

- ・プラスチック部品のいずれかにヒビや損傷がある場合。
- ・フィルターとバルブをカバーしているメッシュが破れたりひどく摩耗したり縫い目がほつれている場合。
- ・チューブがつぶれたり、退色したりしている場合。

大きな損傷がなくても、アバラング全体が傷ついてきた場合は製品寿命が近づいていると考えてください。不安が残るときは使用を止めてください。いつ使用を止めるかは、どのような使い方をしたか、十分考慮して決めてください。ひどい損傷を受けた場合は直ちに使用を止めてください。特にハーネス内部のフィルターとバルブをカバーしているメッシュの状態に気を配ってください。この部分に穴や傷がある場合はアバラング2の使用を止めてください。

アバラングを廃棄するときは再使用されないように切断するなどの処置をしてください。

中古品の譲渡

中古の道具を譲ったり、譲り受けたりして使用することは決してしないでください。どのような使われ方をしたのか履歴のわからない道具は信頼性に欠け、たいへん危険です。

お願い：アバラングを使用中に雪崩に遭遇された方は、その経験をブラックダイヤモンド社または株式会社ロストアロー(049-271-7113)へぜひお知らせください。

▲ 警告

スキーは危険を伴う行為です。本製品をご使用になる方は、道具の正しい使い方と正しいスキーテクニックを習得する責任があります。本製品はテレマークスキー専用設計されていますので、他のいかなる目的にも使用しないで下さい。誤った使い方をすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

ブラックダイヤモンド日本総代理店

株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

Tel : 049-271-7111(代表)

049-271-7113(ユーザーサポート)

Fax : 049-271-7112

e-mail : info@lostarrow.co.jp

2002/10